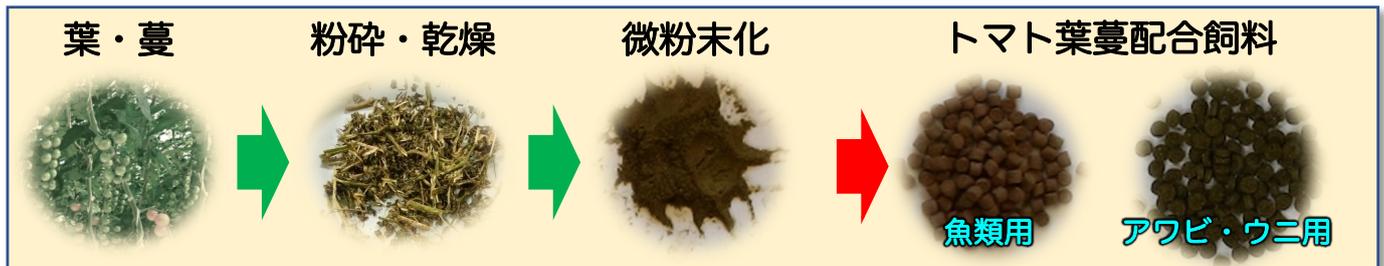


トマト葉蔓を有効活用した魚介類の養殖技術の開発

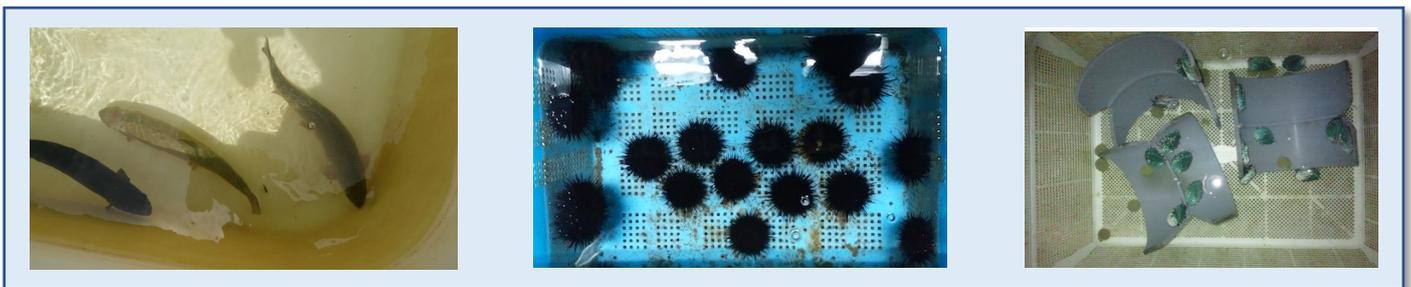
地域未利用資源活用研究会 + 北里大学海洋生命科学部

地元未利用資源活用研究会の構成員である(株)いわて銀河農園（大船渡市末崎町）は、トマトを総合環境型大規模グリーンハウスで栽培し、関東圏の大型スーパーや地元スーパーに出荷している。その一方で、トマトの収穫後に排出される葉蔓（はつる）の利用価値は低く、殆ど廃棄処分されている。このような状況下、北里大学海洋生命科学部と連携して、葉蔓が魚介類の生育や品質を促す素材の一つであることを突き止めた。そこで、トマト葉蔓を地元特産品である魚介類の増養殖に有効活用するための技術開発を進めている。

トマト葉蔓の一次加工と配合飼料



魚介類の飼育試験の風景



トマト葉蔓配合飼料の効果

上段：トマト葉蔓配合飼料を与えたニジマス、ウニとアワビ



下段：無配合飼料を与えたニジマス、ウニとアワビ

ニジマス

トマト葉蔓飼料は無配合飼料よりも生育を促す。品質は同等である。

アワビ・ウニ

トマト葉蔓飼料は生育と身入りを促す。品質は海藻飼料と同等である。

トマト葉蔓を魚介類の生育や身入りを向上させる餌に利用可能

今後の展開：陸上養殖施設における実証試験を実施